

## 第1会場 No.5 塩地報告要旨

本報告の課題は輸出主導型育成と言うモロッコ自動車産業の特質を明らかにすることにある。それは国内市場を主たる標的とせず、欧州地域への輸出のための生産を行なうことに最重点をおいた産業育成戦略である。2012年にルノー-日産 B.V.社のモロッコ法人が本格的な大量生産工場であるタンジェ工場を築き、2015年時点では既に23万台の生産実績を積み上げた。モロッコにあるもう一つの自動車メーカーであるソマカ社(後に詳述)の6万台と合わせてモロッコの生産台数は29万台となった。

しかしながら、その29万台の生産台数の内、輸出に26万台(生産台数の90%)が向けられ、国内販売に供給されたのはわずか3万台であったモロッコにとっては輸出のための生産拠点構築が最優先の中核的課題である。他方、国内市場は13万台まで成長しているが、その13万台の内、上述したように国内生産から充てられたのはわずか3万台であり、残りの10万台(販売台数の77%)は輸入によって充当されている。29万台も生産しているにもかかわらず、13万台の国内市場の大半は輸入車によって占められている。

あえて言えば、歪んだ供給-需要パターンをモロッコ自動車産業は有しているが、そうしたパターンが輸出競争力を産み出しているとも言えよう。こうした輸出に重点を定めて自国の自動車産業の育成をはかるという戦略をモロッコ政府はメキシコやトルコから学んでいる。その意味でモロッコの供給-需要パターンは、一方でメキシコやトルコのそれらと共通する側面も見られるが、他方でモロッコに特徴的なことは、自動車産業への本格的参入が遅れ、最後発となっている故に、あるいは国内自動車市場が小さい故に、より極端な輸出主導型のパターンを採らざるを得なくなっていることである。

本稿は、こうしたモロッコ自動車産業の特質を明らかにするとともに、他国の供給-需要パターンおよび自動車産業政策の国際比較を行なうことによって輸出主導型育成戦略の持つ国際的含意を検討する。

なおモロッコ自動車産業に関しては、苑(2012)がモロッコに進出した日系のワイヤーハーネス製造企業のケーススタディを行なっている。日本的生産システムがどのようにしてモロッコに移転されたかに焦点をあて、経営管理システムや労務管理システムに関する実証分析をしている。こうした成果を踏まえて、本報告はモロッコ自動車産業全般の概括的分析をおこなうものである。

### 参考文献

塩地洋(2009a)「自動車メーカーの新興国への段階的参入戦略—ロシアへのトヨタ自動車の参入を事例として—」『産業学会研究年報』第24号。

塩地洋(2009b)「世界最大となった中国自動車市場の今後」日本自動車工業会『JAMAGAZINE』第43巻第12号。

塩地洋(2009c)「海外における日系企業のディーラー経営」『アジア経営研究』第15号。

- 塩地洋(2010a)「自動車輸出における輸出経路マネジメント—総合商社への業務移管を中心に—」『産業学会研究年報』第 25 号.
- 塩地洋(2010b)「中古車輸出業の特徴と構造」『日本経営学会誌』第 26 号.
- 塩地洋(2010c)「グローバルトップ 5 へと成長した韓国自動車メーカー—「Five Star 制度」による品質改善が原動力に—」日本自動車工業会『JAMAGAZINE』第 44 巻第 8 号.
- 塩地洋(2011a)『中国自動車市場のボリュームゾーン—新興国マーケット論—』(編著)、昭和堂.
- 塩地洋(2011b)「ロシアの可能性」ロシア極東地域等への中古車輸出の現状と今後」大森経徳他編『北東アジアに激変の兆し』第 4 章、桜美林大学北東アジア総合研究所、所収.
- 塩地洋(2011c)「中古車輸出のビジネスモデル」『流通研究』第 13 巻第 1・2 号.
- 塩地洋(2011d)「日系自動車メーカーの新興国マーケティング戦略—中高級車重点戦略と今後の課題—」『産業学会研究年報』第 26 号.
- 塩地洋・富山栄子(2011)「EU 関税同盟の利を活かした輸出拠点—トルコ自動車産業の概括的検討—」『敬和学園大学研究紀要』20 号.
- 高崎晴華(2011)「モロッコ自動車産業の新展開と EU」『九州経済学会年報』49 巻.
- 日本貿易振興機構[JETRO]パリ・センター(2011)「マグレブ 3 カ国の経済・貿易・投資(モロッコ)」
- 苑志佳(2012)「アフリカの日本型ハイブリッド工場シリーズ(D)矢崎総業—モロッコの日系自動車部品ハイブリッド工場—」『赤門マネジメント・レビュー』11 巻 10 号.
- 塩地洋(2012)「日韓中自動車産業の国際競争力」『産業学会研究年報』27 号.
- 塩地洋(2013)「インドネシア自動車市場拡大の論理を読み解く—車種構成と所得分布に着目しながら—」『同志社商学』64 巻 5 号
- 丸川知雄(2013)『現代中国経済』有斐閣.
- 高崎晴華(2014)「EU の新たな製造拠点モロッコ」『MUFG BizBuddy』.
- 日本貿易振興機構[JETRO](2014)「モロッコのビジネス環境」
- 星野妙子(2014)『メキシコ自動車産業のサプライチェーン—メキシコ企業の参入は可能か』アジア経済研究所.